

第112期株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日

株式会社ミツウロコグループホールディングス

〒104-0031

東京都中央区京橋三丁目1番1号

TEL:03-3275-6300(代表) FAX:03-3275-6350

mail:ir-sec8131@mitsuuroko.co.jp

- 本書では、視認性、判読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。



ちびまる子ちゃん

©さくらプロダクション/日本アニメーション

「ちびまる子ちゃん」(フジテレビ系列)で
ミツウロコ企業広告CMオンエア中!





LPガス

感動を、次々と。

Every Day, Special!

ミツウロコグループの事業領域

エネルギー事業

LPガスを中心に、石油製品、住宅設備機器、通信サービス“ミツウロコ光”、太陽光発電システムなどのインフラ事業を展開しています。

電力事業

風力発電やバイオマス発電などの再生可能エネルギーの発電事業者として、地球環境改善・エネルギー自給率の向上・地域との共生を目指しています。

フーズ事業

清涼飲料水の製造・販売、施設内販売及びカフェテリア、バーガーレストランチェーン、ポランタリーチェーンストア、スクラッチペーカーリー・カフェの運営等を手掛けています。

リビング&ウェルネス事業

オフィスビル、商業施設などの開発・賃貸や、リビング&ウェルネスをテーマとした商業施設の運営を行っております。

その他事業

事務用機器や情報通信機器などのリース事業、業務サポート事業、保険代理事業などを行っております。

DATAで見るミツウロコグループ

売上高	従業員数	再生可能エネルギー発電量/年間
2,264億円 <small>第112期連結 2020年4月1日～2021年3月31日</small>	1,534名 <small>2021年3月末</small>	2億5千万kWh
経常利益	エネルギー事業店舗数	LPガス供給軒数
60億円 <small>第112期連結 2020年4月1日～2021年3月31日</small>	76店舗 <small>2021年3月末</small>	約80万軒 <small>2021年3月末</small>
設立	フーズ事業店舗数	
1926年(創業1886年)	233店舗 <small>2021年3月末</small>	



サステナブルな社会の実現に向けて ESGへの取り組みを推進し、 企業価値の向上を目指してまいります

代表取締役社長 グループCEO
田島 晃平

当連結会計年度における我が国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動の停滞や個人消費の低迷等の厳しい状況で推移しました。足下では、欧米諸国でのワクチン普及による経済再開の動きや正常化への期待、各国の積極的な財政・金融政策などから、緩やかな回復の兆しがあるものの、感染再拡大が続いており、国内では3回目となる緊急事態宣言が発出される等、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境においては、電力・ガス自由化以降、脱炭素化、分散化、デジタル化という流れ

の中で、電力・ガス・熱供給分野の一体的な改革が進み、エネルギー市場の垣根を越えた総合エネルギー市場が創出され、AI・IoT等の革新的な技術の導入や事業者間の活発な競争、異なるサービスの融合などのイノベーションの創発を通じ、エネルギー選択の自由度拡大や料金の最大限の抑制等、消費者の利便性の向上が進展しております。

一方で、世界規模でのCO₂削減取組強化・脱炭素化の要請や2050年のカーボンニュートラル実現に向けた宣言、自然災害の頻発化・激甚化に伴うエネルギー安定供給のためのインフラ強靱化の要請の高まりに加え、国際的な需給構造の変化、少子高齢化や人口減少による需要変化、そして新型コロナウイルス感染症に伴う生活様式の変化等、エネルギー事業を取り巻く構造的環境は大きくかつ急激に変化しており、環境適合、安定供給、経済効率の観点から更なる高度化を進めることが必要と考えられております。

このような状況下、当社は堅実な事業基盤のもと、地域に根差したグループの総合力を活かし、地域の安定供給を担う主体として、有事にも対応可能な供給インフラの維持と整備を図るとともに、お客様のニーズの多様化、選択志向に合わせた様々な取り組みを行っております。また、環境意識の高まりとともにCO₂削減を重視されるお客様に向けた、CO₂排出量だけでなく再生可能エネルギー由来にこだわった環境低負荷な電力プランの提供やLPWA通信による遠隔自動検針で取得した指針情報を活用し、

最適な配送計画を立案する配送業務効率化ソリューションの提供など、再生可能エネルギーの普及や燃料消費量の抑制、CO₂の削減によるサステナブルな社会の実現に向けてミツウロコグループ全体でESGへの取り組みを推進しております。

当社はこれからも、平時有事を問わず、あらゆる状況変化の中でも持続可能なエネルギーサプライチェーンの構築と地域に密着した安全で安心なサービスの拡充に努め、お客様に新たな価値を提供してまいります。

当連結会計年度は、エネルギー事業における燃料価格の下落等により、売上高は前期比5.7%減の2,264億62百万円となり、寒波に伴う電力需給の逼迫等を要因とした電力市場の価格高騰に伴う電力仕入調達価格高騰の影響等により、営業利益は前期比27.5%減の52億32百万円、経常利益は前期比27.3%減の60億3百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比5.0%減の33億69百万円となりました。なお、新型コロナウイルス感染症に対する政府・自治体からの各種要請等により、フーズ事業の店舗やリビング&ウェルネス事業の施設において実施した臨時休業期間中に発生した固定費(人件費・減価償却費・賃借料等)を、新型コロナウイルス感染症による損失として特別損失に2億6百万円計上しております。

株主の皆様におかれましては、当社グループの経営活動をご理解いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高



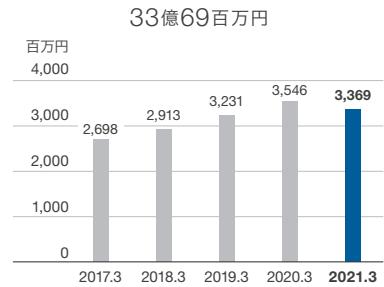
営業利益



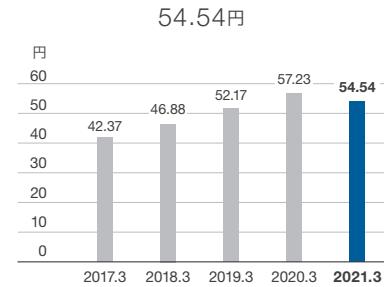
経常利益



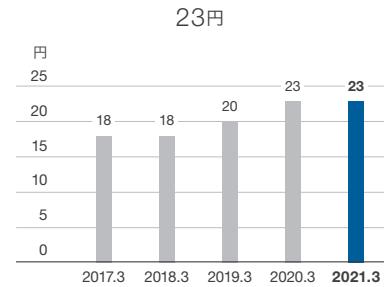
親会社株主に帰属する当期純利益



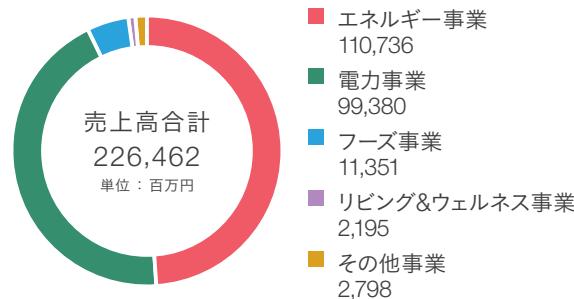
1株当たり当期純利益



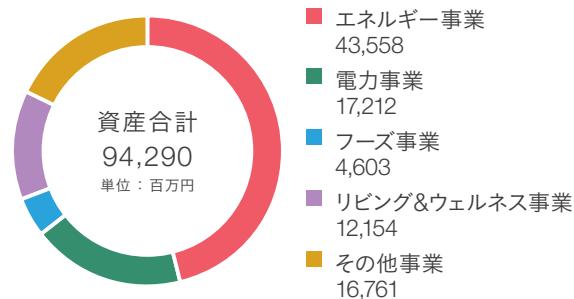
1株当たり配当額(期末)



セグメント別売上高



セグメント別資産



TOPICS

横浜天然温泉 SPA EAS 全国総合第3位

「横浜天然温泉 SPA EAS」が、「第15回 ニフティ温泉年間ランキング 2020」にて全国総合第3位を受賞いたしました。2016年総合第3位、2017年総合第3位、2018年総合第1位、2019年総合第1位に続き5年連続の上位入賞となります。

「女性に人気の施設 神奈川県第1位」、「岩盤浴が人気の施設 神奈川県第1位」、「人気クーポン賞 神奈川県第1位」等、多数の人気の温浴施設がある神奈川県部門においても、様々な賞を受賞いたしました。



施設紹介 横浜天然温泉SPA EAS

横浜駅から徒歩5分の場所にある横浜天然温泉。在宅ワーカーの需要に応えコワーキングスペースを拡充するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、温泉IoT(施設混雑可視化サービス)を活用し、お客様が混雑・過密を避けてご利用いただける工夫をしております。

詳しくはこちらへ <https://spa-eas.com/>

「健康経営優良法人2021(ホワイト500)」に認定

当社及びグループ会社13社は、2021年3月4日、日本健康会議が経済産業省と共同で特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する「健康経営優良法人2021 大規模法人部門(ホワイト500)」に、昨年に続き2年連続で認定されました。

また、当グループ会社である株式会社三鱗(本社:東京都中央区)、ミツウロコ健康保険組合は同日、「健康経営優良法人2021(中小規模法人部門)」に初めて認定されました。

当グループでは『ミツウロコグループ企業倫理憲章』及び『ミツウロコグループヘルスケア宣言』のもと、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、取り組みを続けています。

ミツウロコグループの健康経営への取り組み

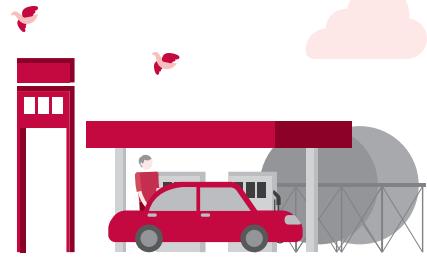
- 1 健診受診100%の継続
- 2 受動喫煙防止対策
- 3 女性の健康施策
- 4 メンタルヘルス対策
- 5 新しい生活様式への対応



事業について

ミツウロコグループは、地球にやさしいエネルギーと生活周辺サービスを中心に豊かなくらしづくりに貢献する企業グループとして「エネルギー事業」、「電力事業」、「フーズ事業」、「リビング&ウェルネス事業」、事務機器などのリースや業務サポート、保険の取り扱いを行う「その他事業」を展開しております。

エネルギー事業



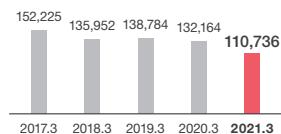
営業利益 **41億94**百万円

前期比 16.6% 増▲

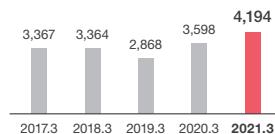
当期のポイント

- 新型コロナウイルスの影響により、LPガス事業、石油事業の産業用、業務用の販売量が減少。
- 期初の燃料価格の下落による売上原価の減少や経費の削減により、営業利益は増加。

売上高推移(百万円)



営業利益推移(百万円)



電力事業



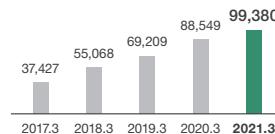
営業利益 **15億90**百万円

前期比 58.0% 減▼

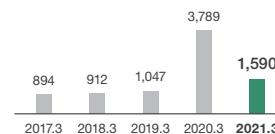
当期のポイント

- 寒波に伴う電力需給の逼迫等を要因とした電力市場価格高騰の影響により、電力仕入調達価格が高騰し、営業利益は前期比減少。

売上高推移(百万円)



営業利益推移(百万円)



フーズ事業



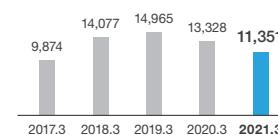
営業損失 **95**百万円

前期比 1億81百万円 減▼

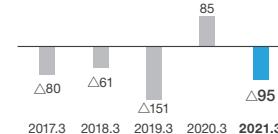
当期のポイント

- 飲料水事業が販路拡大により好調に推移したものの、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞により、売上高・営業利益ともに前期比減少。

売上高推移(百万円)



営業利益推移(百万円)



リビング&ウェルネス事業



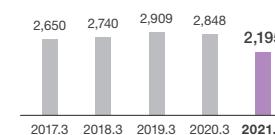
営業利益 **4億15**百万円

前期比 38.1% 減▼

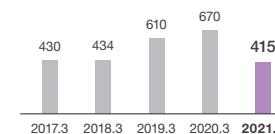
当期のポイント

- スパイアス、ハマポールについて新型コロナウイルスの感染拡大防止による営業自粛を主因として、売上高・営業利益ともに前期比減少。

売上高推移(百万円)



営業利益推移(百万円)



その他事業



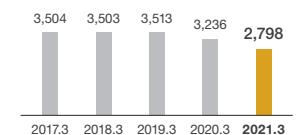
営業損失 **14**百万円

前期比 12百万円 改善▼

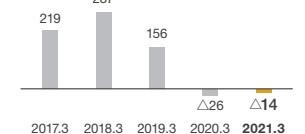
当期のポイント

- 昨年度の石炭の前倒し販売による減少などにより、売上高は前期比減少。
- リース事業における貸倒引当金繰入の増加等により営業損失は14百万円となった。

売上高推移(百万円)



営業利益推移(百万円)



EV向け再エネ電力メニュー 提供事業者を選定

ミツウロコグリーンエネルギー株式会社
取締役 事業推進本部部長
兼 電力営業部長
椋田 真彦



EVグリーンプラン開始

本年、当社は、「再エネ電力と電気自動車や燃料電池自動車等を活用したゼロカーボンライフ・ワークスタイル先行導入モデル事業」において、環境省が指定するEV購入補助金の対象となる再エネ電力メニュー提供事業者を選定されました。EV購入補助金とは、EV車を購入する際に選定された小売電力事業者が提供する「再エネ電力メニュー」を購入（電力契約）すれば、補助金がもらえるEV普及のための政府の制度です。

当社はEV車をこれから購入する方にターゲットを絞り、魅力的なメニューを作りました。コンセプトは3つです。1

つ目は一般消費者に分かりやすいこと。基本料金を無料にし、従量料金のみとしました。2つ目はインパクトがあること。約300km走行できる分の充電電力量を条件付きで無料にしました。3つ目はコストの最小化を目指すこと。充電時間を夜間の0時から5時にし、ピーク時間帯からシフトすることでコストが最小化でき、それをお客様に還元するという発想です。

スピード感とオープンな風土が強み

私から見た当社の強みは「スピード感」だと思います。各部門の垣根なく、何かやろうとしたときは横断的にプロ

ジェクトチームを作ることができ、検討から実行まで圧倒的なスピードを進めることができます。ミツウロコグリーンエネルギーの社員の大半が20代ですので、若くて勢いのある会社です。社内の風通しも良く、アイデアを出し合える「オープン」な風土ですので、若い社員のやりたい仕事の実現できる環境だと思います。

EVグリーンプランのコンセプトも、実は車好きな若手社員のアイデアです。「こんなメニューがあったらインパクトある」という彼の発案がきっかけとなりました。それを自動車メーカーにプレゼンしたところ、非常に魅力的だと評価され本サービスの提供につながりました。

ミツウロコグループのシナジーを活かし 電力事業を柱に

電力事業がミツウロコグループの一つの柱にまで成長することができた一番の要因は、電力自由化の波に乗れたことです。ただそれは、当社がいち早く再生可能エネルギーを始め、制度や社会の変化に素早く対応してシステムや人材に投資できたことが大きかったと感じています。

また、ミツウロコグループがこれまで培ってきたネットワークや信頼といった資産を活用し、グループのシナジーを発揮できたことも大きな要因です。



ミツウロコでんきEVグリーンプラン特設サイト
<https://mitsuurokogreenenergy.jp/ev/>

BtoCに関しては、LPガスを担うミツウロコヴェッセルのネットワークを活かし、BtoBに関してはグループの飲食事業や不動産事業などとの連携を進めました。さらにグループ以外の取引先とも協力体制を築きながら拡販をしています。

脱炭素化の動きが追い風となり 問い合わせ件数が増加

当社は以前より環境負荷の少ない電気メニューを扱っていましたが、なかなか注目されませんでした。政府が脱炭素化の方針を打ち出したことで、直近では様々な企業、大学、団体などからの問い合わせが増えています。

EV車に関していえば、当社は購入するお客様と直接接する機会は少ないです。新車販売の中心である販売会社と協力し、EV車を購入すると当社のEVグリーンプランがついてくるといった自然なスキームを目指しています。既に多数の販売会社に興味を持っていただいています。我々は協業相手を「パートナー」と呼んでいます。パートナーと一緒に成長し、次なるモビリティに踏み込んでいきたいと思っています。

まだまだEVグリーンプランの認知度が足りないの、周知・広告等を積極的に展開していきます。環境省の指定事業者に第1号として登録することができたことでも注目度は上がっています。

足元では、引き続き顧客基盤を拡大し、より多くのお客様に当社の電気を使っていただき、ご満足いただければと思います。これからもスピード感を失うことなく、社会やお客様の暮らしに役立つサービスを提供できるよう取り組んでまいります。

くらしを彩る商品で 「豊かなくらしのにないて」に

株式会社ミツウロコ
EC事業部主任
黄 于庭



「豊かなくらしのにないて」を ECサイト「solemo」で実現しています

台湾人の私がミツウロコを知ったのは本当に縁だと思います。日本でのワーキングホリデーが決まっていた私に、ご縁で出会ったミツウロコの方が「是非ミツウロコに来てみてください」と言ってくれたのがきっかけです。実際に、会社に来てみると、思っていたよりも大きく、長い歴史を持つ企業であることに驚きました。

現在私が所属しているEC事業部は、キッチン用品や家具、家電などの生活雑貨を販売しているECサイト「solemo」を運営しています。

「solemo」は、「あれもいい、これもいい、それも欲しい」と思っていただける商品を取りそろえた「暮らしのセレクトショップ」です。私はバイヤーとして商品選定や価格交渉、仕入れなどを担当しています。私たちは、ECサイト運営というミツウロコグループにとって主力のエネルギー事業とは異なる全く新しい事業を行っていますが、「お客様の暮らしに潤いを与える商品を提供したい」と考えている点は、グループの経営理念である「豊かなくらしのにないて」に通じていて、それはやはり95年という長きに渡って脈々と受け継がれてきたDNAなのかもしれません。

ミツウロコの魅力は「OLD&NEW」

ミツウロコは、積み重ねてきた95年の歴史を大切にしながら、常に新しい事業に挑戦し続けてきた会社です。それは「人」に対しても同じで、外国人である私を受け入れるのは一つの挑戦だったと思います。それでも職場では、私を「外国人」として特別扱いする仲間はおらず、文化の違いの私の言葉にもしっかりと耳を傾けてくれています。

もちろん入社当時は苦勞したこともありましたが。

私には、日本人の遠回しな言葉選びは難解です。そのため、意思を確認するコミュニケーションは頻繁にとるようにしています。実のところ、遠まわしな言い方は日本人同士でも理解しきれていないことがあり、それぞれが異なる結論になっている時もあることに気づきました。空気を読むことのできない私が意思を確認することで、みんながそこに気づくようになり、よりコミュニケーションを大切にすることが新しい文化になったと思います。

グローバル化は、実際に「海外に進出する」「外国語を話せるようになる」というだけでなく、様々な価値観を受け入れ、コミュニケーションをしっかりととりながら、皆で協力して仕事をしていく事だと思います。そういった文化がミツウロコにはあると思います。

また、現在、ミツウロコでは、各分野で活躍する女性の姿を多くみかけるようになりました。EC事業部もまさに女性を中心に構成された代表的な部署です。メンバーで積極的に意見を言い合い、時にはぶつかることもありますが、お客様のニーズにあった商品やサービスをお届けしたいという共通の思いをもって、活き活きと仕事をしています。



ワンランク上の日常を叶える、暮らしのセレクトショップ「solemo」
<http://solemo.jp/shop/>

暮らしの主体は「人」です。様々な人間がいるように、性別や年齢を超えて、より多様な観点からサービスを提供できることが、大きな強みになると考えております。

そういう意味でも、会社における多様性は大切だと思いますし、今後も色々な人が活躍できるような会社であってほしいと思っています。

こだわり、選び抜かれたアイテムが溢れる 「solemo」にお越しくだけさい

良いデザイン、良い作り、良い品質への追求は、世界共通だと考えております。私にしかできない役割として、外国人という違った観点から日本の良さを再発見し、伝えることができると思っています。是非日本文化の豊かさともぐもりがある商品が揃う「solemo」を一度覗いてみてください。

会社概要

社名	株式会社ミツウロコグループホールディングス
英文社名	Mitsuuroko Group Holdings Co., Ltd.
主な事業内容	持株会社(グループの経営戦略・経営管理)
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号
創立年月日	1926年(大正15年)5月10日
資本金	70億77百万円
従業員数	17名/連結:1,534名(2021年3月31日現在)

役員

(2021年6月18日現在)

代表取締役社長 グループCEO	田島晃平
取締役	二見 敦
取締役 グループCFO、グループCAO	児島和洋
取締役	坂西 学
取締役	川上 順
取締役	大森基靖
取締役 グループCTO、グループCIO	ゴウミン
取締役(社外)	柳澤勝久
取締役(社外)(独立)	松井 香
監査等委員である取締役(社外)(独立)	菅原英雄
監査等委員である取締役(社外)(独立)	河野義之
監査等委員である取締役(社外)	田嶋 圭

株式の状況

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	197,735,000株
発行済株式の総数	62,332,388株
株主数	3,884名

上位株主

(2021年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ENEOSホールディングス株式会社	5,064,040	8.22
明治安田生命保険相互会社	4,990,000	8.10
田島株式会社	4,327,000	7.03
損害保険ジャパン株式会社	3,681,173	5.98
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口	3,074,000	4.99
リンナイ株式会社	2,682,464	4.36
橋本産業株式会社	1,926,500	3.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,895,500	3.08
全国ミツウロコ会持株会	1,737,484	2.82
株式会社パロマ	1,685,124	2.74

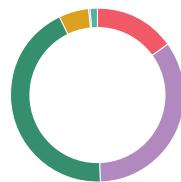
(注)1.当社は自己株式を743,822株(株式給付信託(BBT)に関する 株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社の株式267,900株を除く)保有しております。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、株式給付信託(BBT)に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社の株式は、持株比率の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式からは除外しております(当連結会計年度末267,900株)。

分布状況

(2021年3月31日現在)

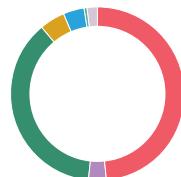
所有者別の株式分布状況

個人・その他	9,398,364株	15.08%
金融機関	21,425,004株	34.37%
その他国内法人	27,116,177株	43.50%
外国法人等	3,418,698株	5.49%
金融商品取引業者	230,323株	0.37%
自己名義株式	743,822株	1.19%



所有株数別の株主分布状況

~499株	1,887名	48.60%
500~999株	129名	3.32%
1,000~4,999株	1,440名	37.08%
5,000~9,999株	183名	4.71%
10,000~49,999株	157名	4.04%
50,000~99,999株	20名	0.52%
100,000株~	67名	1.73%



※自己株式を除いて算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 剰余金の配当 毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.mitsuuroko.com/)に掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

郵便物送付先・お問い合わせ先

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

お問い合わせ先 フリーダイヤル 0120-288-324(未払配当金の受領など)

住所変更、単元未満株式の買取及び買増請求等のお申し出先につきましては、株主様が口座をお持ちの証券会社にお申し出ください。
ご注意 ただし、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式の場合は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行が住所変更等のお申し出先となります。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店、みずほ銀行	本店及び全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります。)
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に口座をお持ちでない場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。